

大会名	第72回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会				チーム名	1Q	2Q	3Q	4Q	延長	合計
期日	H30.6.2	会場	TKOいちごアリーナ	試合No.	久我山	12	13	19	9		53
審判	(主) 佐田 幸一	(副) 武井 晋平	平山 智章	B 4	土浦日大	26	24	28	16		94

國學院大學久我山高等学校(東京)

コーチ 酒井 良幸 A・コーチ 染谷 昌和 マネジャー

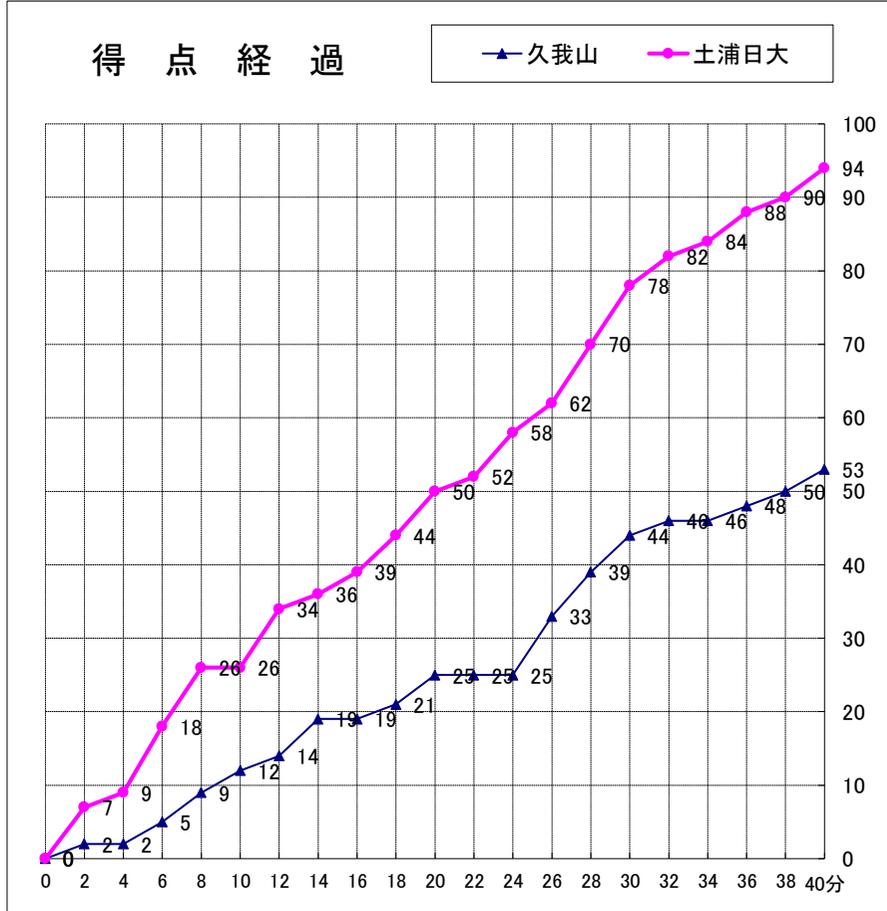
選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
関矢 和冬	4	13	0	4	5	8	3	4	1	0	6	6
寺西 涼佑	5	2	0	2	1	3	0	0	2	0	3	3
内海 誠也	6	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
奥居 優羽太	7	7	2	2	0	4	1	2	2	0	2	2
箱崎 亮祐	8	2	0	0	1	1	0	0	2	1	1	2
出光 実	9	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	1
長橋 冬真	10	14	0	1	5	19	4	5	2	0	5	5
トカチヨフ ヤン	11	4	0	1	1	3	2	2	4	0	3	3
田川 奨真	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
黒田 悠太	13	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
富田 凌	14	2	0	1	0	1	2	2	0	2	4	6
石坂 悠月	15	2	0	0	1	2	0	0	0	0	2	2
石水 鴻	16	5	1	3	1	2	0	0	2	1	1	2
麻生 継允	17	2	0	1	1	2	0	0	0	0	1	1
宇津木 舜佑	18	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1
チーム合計		53	3	15	16	52	12	15	15	6	28	34
成功率			20.0%		30.8%		80.0%					

土浦日本大学高等学校(茨城)

コーチ 佐藤 豊 A・コーチ 高橋 佑輔 マネジャー 三浦 翔

選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
吉田 崇紘	4	18	1	1	7	12	1	2	1	6	5	11
細割 駿佑	5	5	0	0	2	2	1	2	1	2	5	7
山崎 凜	6	9	1	2	3	9	0	0	1	3	5	8
山内 龍也	7	0	0	0	0	2	0	0	0	1	2	3
吉村 公汰	8	12	1	2	4	8	1	2	3	1	3	4
飯野 椋太	9	2	0	1	1	5	0	0	0	1	0	1
結城 智史	10	5	0	3	2	4	1	2	0	4	4	8
神 魁社	11	8	0	0	4	12	0	0	2	0	0	0
塚越 胤信	12	7	0	1	3	5	1	3	4	1	4	5
陳岡 燈生	13	6	0	0	3	8	0	0	1	2	1	3
鍋田 亜廉	14	14	2	5	3	4	2	3	0	0	0	0
吉田 凜	15	6	0	0	2	5	2	2	2	3	1	4
久野 瑞稀	16	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1
澤 浩己	17	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	1
松尾 凌平	18	2	0	0	1	4	0	0	0	3	2	5
チーム合計		94	5	15	35	84	9	16	15	29	35	64
成功率			33.3%		41.7%		56.3%					

得点経過



戦評

1回戦第4試合。開始1分で土浦日大が#8のフリースローで先制。その後も#4のパスカンと#14の3Pにより更に6点を追加。点差が7点になったところで久我山がようやく#4のレイアップにより加点するも、土浦日大は#14のフローター、#4のゴール下などで更に加点し、久我山をつきはなし、開始4分で久我山はたまたまタイムアウト。立て直しを図り、#4のレイアップ、#10や#14のフリースローで加点し、土浦日大を追うも、土浦日大は#13と#8の合わせや、#5のリバウンドショットで安定して点を重ねていき、12-26で土浦日大がリードしたまま第1ピリオドは終了した。

続く第2ピリオド。久我山の#4がレイアップで得点するも、ジャンパーが好調の土浦日大は落ち着いて点を取り返す。点差が変わらない展開となり、4分経過時に土浦日大がこの日初めてのタイムアウト。その後は土浦日大がじわじわと点差を広げ、25-50で土浦日大がリードしたまま前半を終えた。

後半戦、久我山は2-1-2ゾーンディフェンスにディフェンスを切り替える。それに対して土浦日大は速攻やアウトサイドで対抗。久我山は得点こそできなかったものの土浦日大の得点を抑えることに成功し、後半開始3分半で土浦日大がタイムアウト。その後土浦日大はスペースを広く使ったオフェンスで加点を続け、久我山は#10のゴール下や#7の3Pで対抗するも、44-78と土浦日大がリードを広げて第3ピリオドは終了した。

第4ピリオド。久我山はマンツーマンディフェンスに戻して土浦日大を追うも、土浦日大のインサイドの強さに苦戦。結局点差を縮めることができず、最終スコア53-94で土浦日大が勝利した。

記入者 藤本 創